

日本勞農黨支持に關する聲明書

全國の我が同志諸君!!

過去一年有半我等が滿腹の熱意と努力とを傾倒してきた無産階級政党内題は紛糾に紛糾を重ねて乱麻の如く今之極左翼の手に落ちて顧みられることなき勞働農民黨と階級的立場すら疑はれる社會民衆黨が僅かに敗惨の姿を曝したのみ顧みるに我が関東合同勞働組合は過去一年半の間無産階級政党内題に對して終始一貫した政治運動方針を確守高唱して来た、即ち極左翼小兒病的政党内徹底的に排撃し以て我が全無産階級の眞の要望に副ふべき政党内樹立に誠心誠意無限の努力を拂ってきた、勞農党内部の上つて隱忍自重以て之れが健全なる発達を計つてきた我等が態度は即ちこの純貞なる精神の現はれであった然るに極左翼分子の盲目動と極右翼分子の私欲私欲的な破壊策動とは不幸我々並に多くの友誼團體をしい遂に脱退者余儀なくせしめ二に全無産大衆の要望は裏切られ、その帰趨を迷はしおるに至つた、

この時表面三學者提唱と稱する社會民衆黨が極右翼小教幹部の間に創立を策せられた我々は慎重なる態度を以て之れが成行を見守つて来た作りに其の後、日を経るに従つて社會民衆黨の本体は露露降降した、ドブチツかすの小ブルジョアの集團エラクラブ等も辞を俵うして加入せしめてゐる、

同志諸君!!

此の一事を以て己に社會民衆黨が決して我等全無産階級の眞の利益を代表するものにならず、自由主義の美名に隠れた、又正的存在であることが明かに看取されやう、事ここに至りて我等は現下の勞働農民黨を絶対排除すると共に又神聖なる階級的立場を小ブルジョア輩に賣つた社會民衆黨を徹底的に唾棄排斥せねばならぬ、

飛火!! 二に暗喩を排して去る十一月廿三日 日本勞農黨は